



2024年3月期 第2四半期

決算説明資料

GMB株式会社

東証スタンダード市場

証券コード：7214

<https://www.gmb.jp>

I. 2024年3月期第2四半期実績

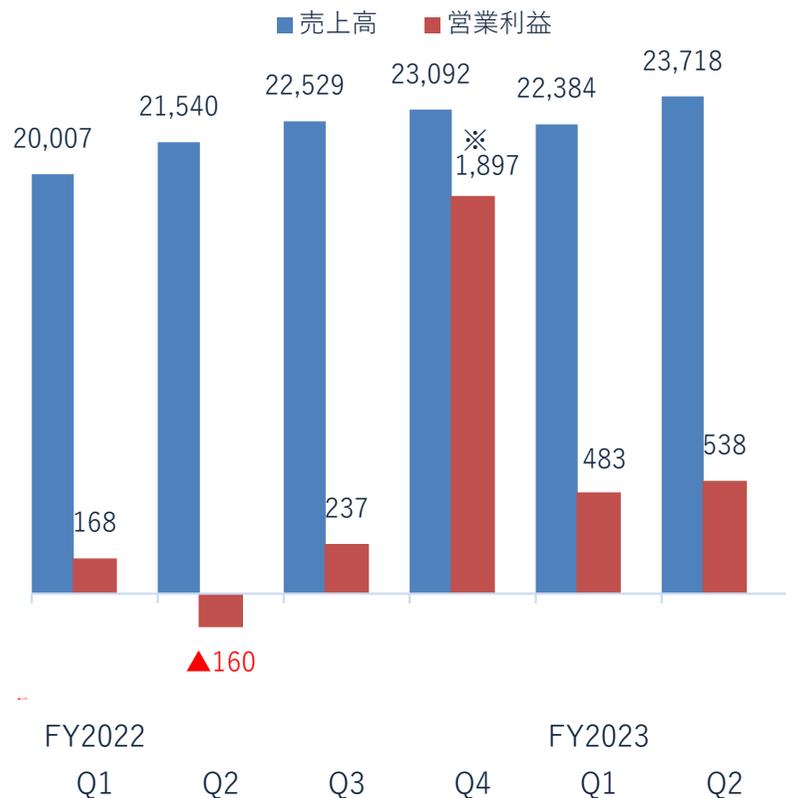
II. 2024年3月期通期計画

2024年3月期第2四半期 連結業績



- 電動ウォーターポンプを中心に韓国新車用部品が好調に推移し売上高は11%増収
- 販売価格値上やコスト削減努力も加わり粗利率は改善し、販管費増加を吸収して営業利益増益
- 為替差益の減少と資金調達コストの増加によって経常利益以下は減益

直近の四半期業績推移



(単位：百万円)

	FY2022 Q1-2	FY2023 Q1-2	前期比 (増減率)
売上高 (同利益率)	41,547 (100.0%)	46,102 (100.0%)	4,554 (11.0%)
売上総利益 (同利益率)	5,908 (14.2%)	8,026 (17.4%)	2,117 (35.8%)
営業利益 (同利益率)	7 (0.0%)	1,021 (2.2%)	1,013 (12760.0%)
経常利益 (同利益率)	2,070 (5.0%)	1,488 (3.2%)	▲581 (▲28.1%)
四半期純利益 (同利益率)	1,272 (3.1%)	819 (1.8%)	▲452 (▲35.6%)

※FY2023.Q4は期末の特殊要因として退職給付債務の数理計算上の差異による約13億円の利益を計上

連結売上高

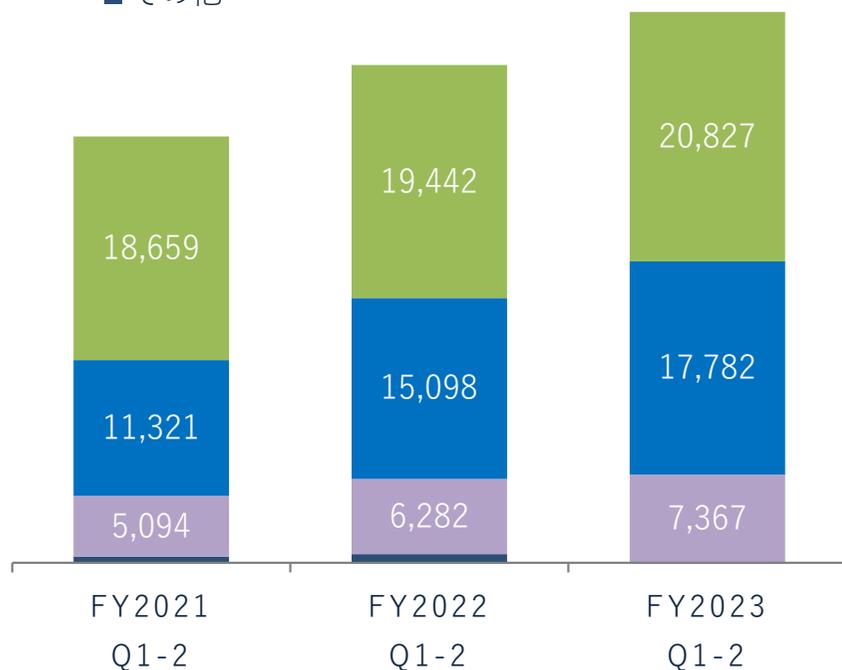


- ・ 駆動・伝達及び操縦装置部品は、韓国の新車用部品市場におけるバルブスプール、等速ジョイントの販売が増加
- ・ 冷却装置部品は、韓国で電動ウォーターポンプの拡販により販売増加

品目分類別の推移

(単位：百万円)

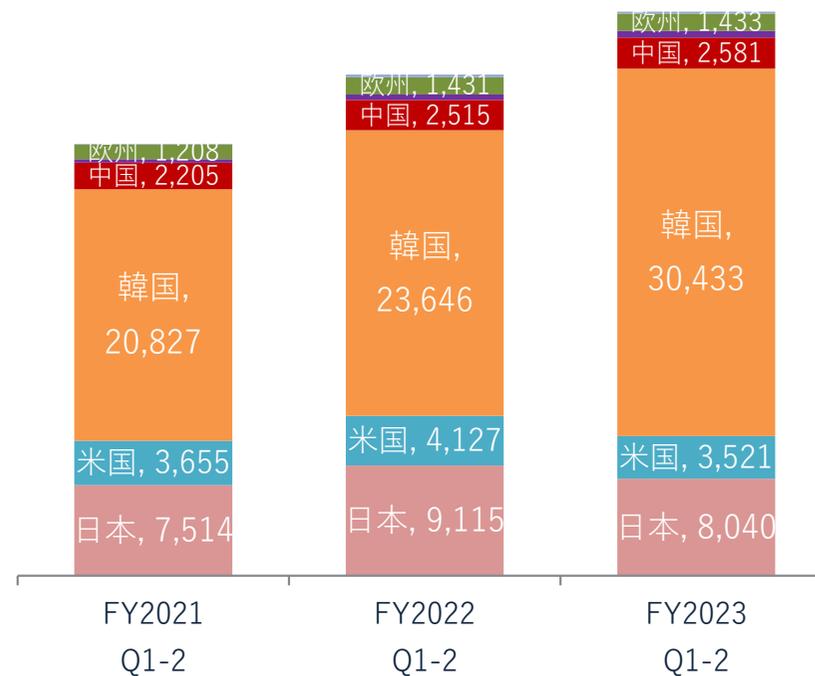
- 駆動・伝達及び操縦装置部品
- 冷却装置部品
- ベアリング
- その他



所在地セグメント別の推移

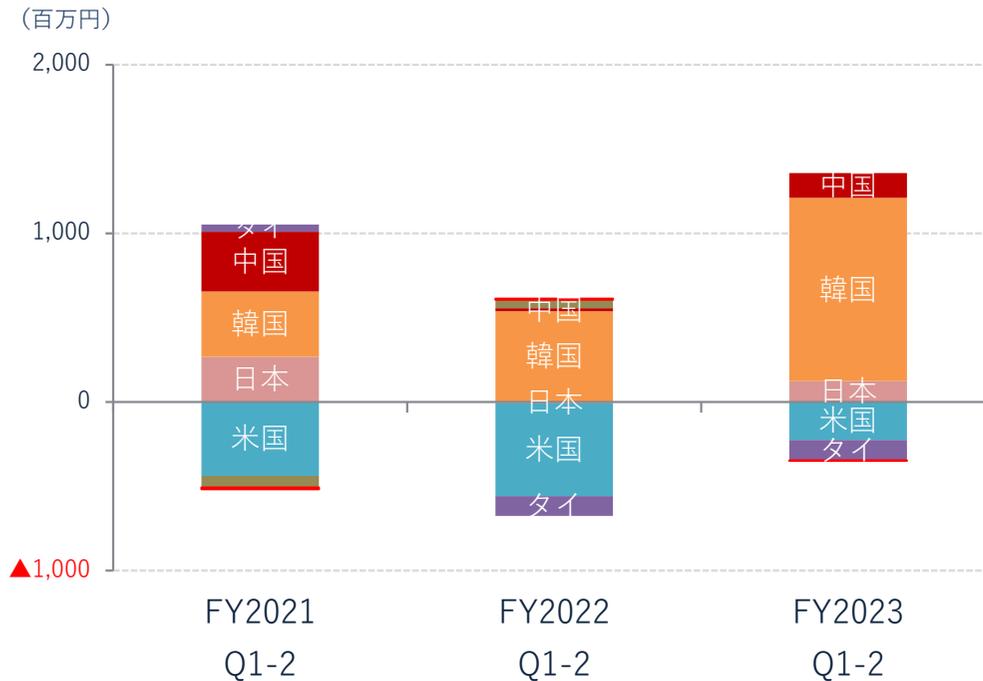
(単位：百万円)

- 豪州
- 欧州
- タイ
- 中国
- 韓国
- 米国
- 日本



連結営業利益

所在地セグメント別の推移



日本	268	▲9	124
米国	▲438	▲549	▲226
韓国	388	538	1,086
中国	354	18	147
タイ	43	▲117	▲122
欧州	▲69	51	0
豪州	▲28	6	▲1
調整額	▲116	68	13
連結	400	7	1,021

- 日本は売上減少するも、販売価格の値上や物流コスト減少などにより採算が改善し黒字転化。
- 米国は販売値上やコスト削減により赤字縮小。
- 韓国は販売の数量・価格両面での増加やコスト削減努力によって大幅増益。
- 中国の製造子会社では、一部生産数量の回復や量産開始が遅れたものの、前期上期の中国各地でのロックダウンによる稼働停止の影響もなくなり、採算改善。
- タイの製造子会社では、日本の販売減少や原材料価格の高止まりによって前期並みの赤字継続。
- 欧州ではロシア工場の稼働停止が継続。

連結営業利益以下の内訳



(単位：百万円)

	FY2022 Q1-2	FY2023 Q1-2	前期比 (増減率)
営業利益	7	1,021	1,013
営業外収益	2,434	1,208	▲1,225
(うち為替差益)	(1,968)	(950)	(▲1,018) ※1
(うちデリバティブ評価益)	(276)	(43)	(▲233)
営業外費用	371	740	369
(うち金融費用)	(346)	(708)	(362) ※2
経常利益	2,070	1,488	▲581
特別利益	2	38	35
特別損失	39	168	129
(うち減損損失)	(27)	(163)	(135) ※3
税引前利益	2,033	1,359	▲674
法人税等	334	381	47
少数株主持分損益	427	158	▲269
四半期純利益	1,272	819	▲452

※1

主に日本において円安に伴う外貨資産評価益を計上するも前期よりは減少

※2

海外子会社における有利子負債増加と金利の上昇による

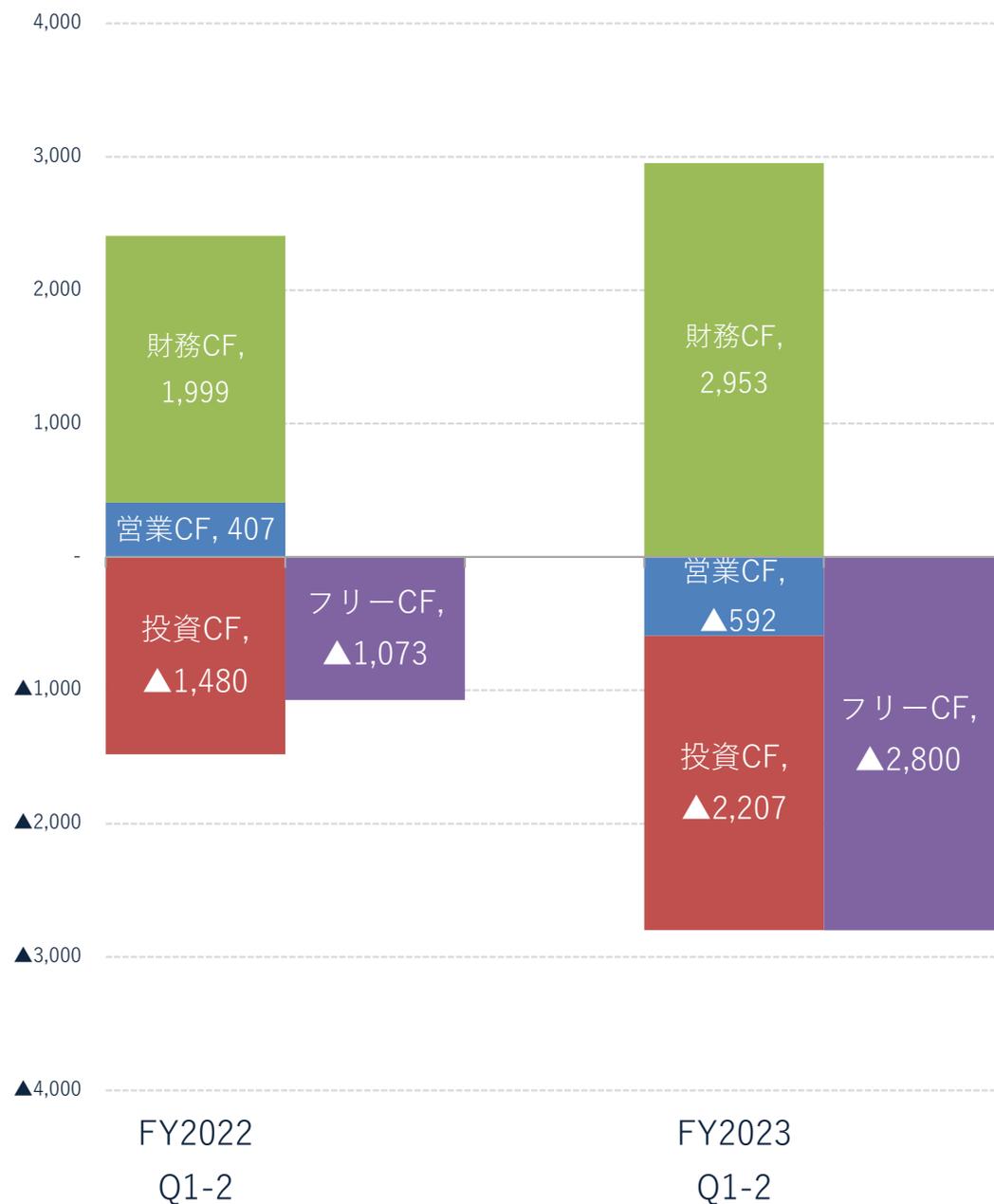
※3

前期に引き続き、ロシア工場の事業中断と米国子会社の業績不振に伴う各資産を減損処理

連結キャッシュフロー



(単位：百万円)



FY2023 Q1-2 の主な内訳

● 営業CF

税金等調整前利益	1,359	百万円
減価償却費	1,806	
売上債権の増加	▲1,540	
たな卸資産の増加	▲2,879	
仕入債務の増加	602	
為替差益	▲729	

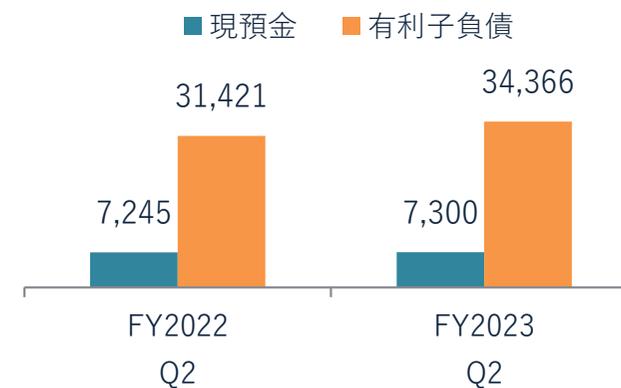
● 投資CF

設備投資	▲2,332
------	--------

● 財務CF

借入金の増加	3,505
リース債務の減少	▲260

現預金・有利子負債残高



I. 2024年3月期第2四半期実績

II. 2024年3月期通期計画

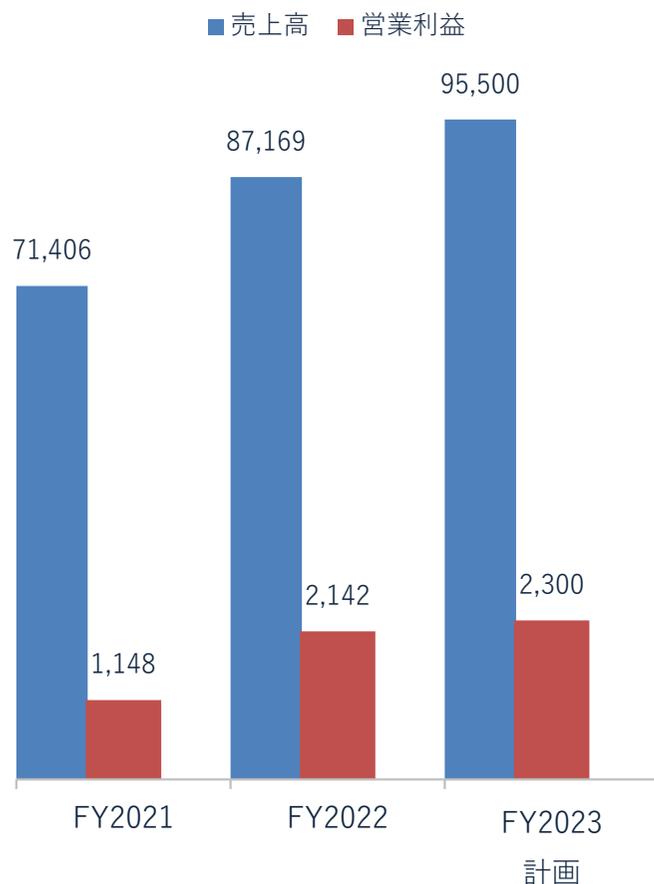
2024年3月期 連結業績計画



- 引き続き、韓国新車用部品市場での冷却装置部品を中心に販売拡大を計画
- 価格転嫁やコスト削減努力によって収益性を高め、特殊要因なしでも前期比更なる営業利益増を計画
- 想定レートを円安に修正したことで、一定の為替差益を見込むも経常利益以下は修正後も減益見通し

(単位：百万円)

3年間の業績推移



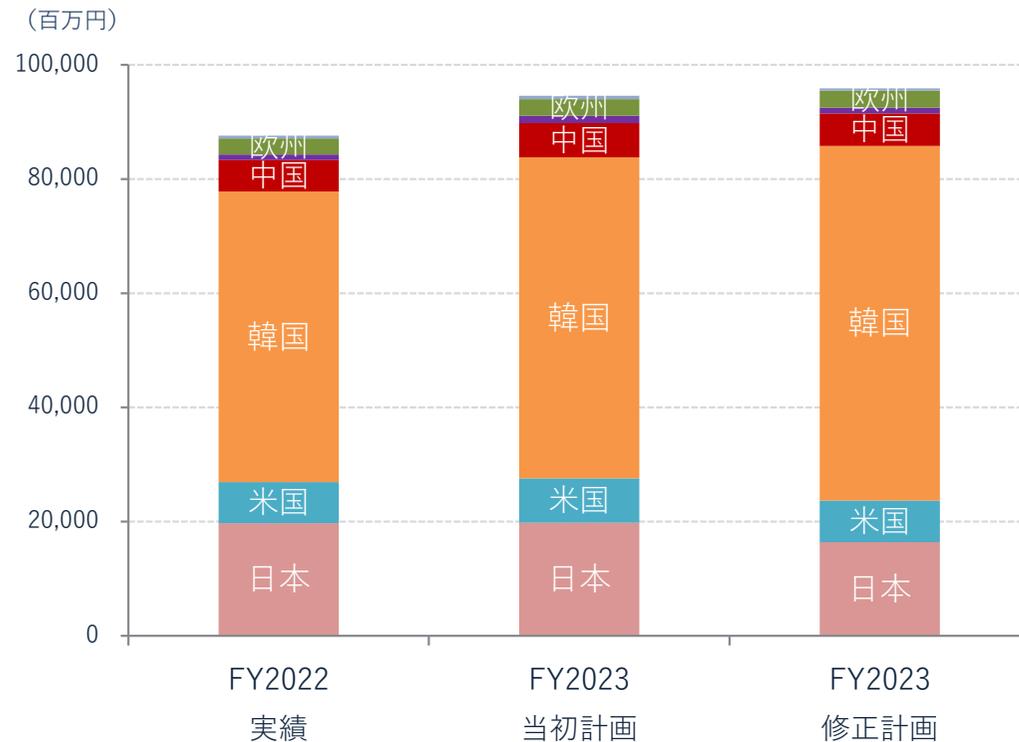
	FY2022 実績	FY2023 当初計画	FY2023 修正計画	修正後前期比 (増減率)
売上高 (同利益率)	87,169 (100.0%)	94,500 (100.0%)	95,500 (100.0%)	8,330 (9.6%)
売上総利益 (同利益率)	14,263 (16.4%)	15,800 (16.7%)	16,500 (17.3%)	2,236 (15.7%)
営業利益 (同利益率)	2,142 (2.5%)	2,200 (2.3%)	2,300 (2.4%)	157 (7.4%)
※ (同利益率)	846 (1.0%)	2,300 (2.4%)	2,400 (2.5%)	1,553 (183.6%)
経常利益 (同利益率)	3,319 (3.8%)	1,700 (1.8%)	2,100 (2.2%)	▲1,219 (▲36.7%)
純利益 (同利益率)	1,213 (1.4%)	700 (0.7%)	800 (0.8%)	▲413 (▲34.1%)
EPS	229.58	132.33	151.08	▲78.50
換算レートUSD	131.45	130.00	140.00	※次ページ参照
換算レートKRW	0.1017	0.1040	0.1070	

※子会社GMB KOREA CORP.の退職給付債務の数理計算上の差異の影響を除いた場合

連結売上高計画



所在地セグメント別の内訳



日本	19,722	19,800	16,400
米国	7,228	7,800	7,300
韓国	50,861	56,200	62,100
中国	5,502	6,000	5,700
タイ	1,004	1,300	1,000
欧州	2,806	2,900	3,000
豪州	480	600	400
調整額	▲435	▲100	▲400
連結	87,169	94,500	95,500

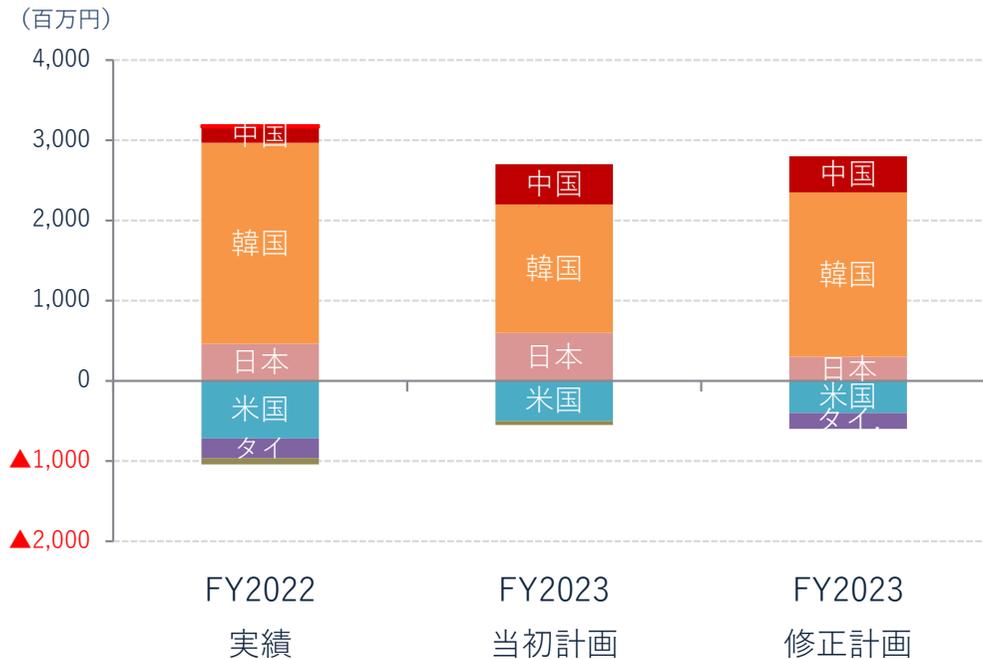
- 日本は前期好調だった海外補修用部品の反動減が長引き、欧州新車用部品販売の回復も遅れていることから、前期からの減少を見込む。
- 米国は不採算取引の見直しによる減少を見込む。
- 韓国は韓国内の新車用部品が全体的に順調に推移しており、電動ウォーターポンプや本格的に量産開始する新製品インテグレートッド・サーマル・モジュールを中心に更なる増加を見込む。
- 中国では下期から本格的に量産開始するアイテムを中心に現地新車用部品の販売増加を見込む。

※想定レート & 換算レート

	想定レート		子会社（12月決算）の換算レート		
	当初	下期	前期	当初想定	見直後
1USD (円)	130.00	145.00	131.45	130.00	140.00
1KRW (円)	0.1040	0.1100	0.1017	0.1040	0.1070

連結営業利益計画

所在地セグメント別の内訳



所在地	FY2022 実績	FY2023 当初計画	FY2023 修正計画
日本	463	600	300
米国	▲719	▲500	▲400
韓国	2,505	1,600	2,050
※	1,209	1,700	2,150
中国	192	500	450
タイ	▲244	-	▲200
欧州	▲79	▲50	-
豪州	26	-	-
調整額	▲3	50	100
連結	2,142	2,200	2,300
※	846	2,300	2,400

※子会社GMB KOREA CORP.の退職給付債務の数理計算上の差異の影響を除いた場合

- 日本は、販売減少と固定費増加を販売価格値上で一部吸収するも、減益を予想。
- 米国は販売価格値上とコスト削減により更なる赤字縮小を計画。
- 韓国は前期の退職給付費用の減少による特殊要因がなくなるも、販売増加とコスト削減努力によって更なる増益を計画。
- 中国の製造子会社は販売増加がずれ込むことで、前回よりも増益幅は縮小するも、原材料価格値下やコスト削減努力によって改善を計画
- タイの製造子会社は日本向け生産量の減少と価格値上効果のずれ込みにより赤字継続。
- 欧州はロシア工場の稼働停止を継続。

連結営業利益以下の計画内訳



(単位：百万円)

	FY2022 実績	FY2023 当初計画	FY2023 修正後計画	増減額
営業利益	2,142	2,200	2,300	157
営業外収益	2,069	650	1,300	▲769
（うち為替差益）	(1,442)	(-)	(750)	(▲692) ※1
（うちデリバティブ評価益）	(233)	(-)	(40)	(▲193)
営業外費用	892	1,150	1,500	607
（うち金融費用）	(850)	(1,100)	(1,450)	(599) ※2
経常利益	3,319	1,700	2,100	▲1,219
特別利益	11	-	40	28
特別損失	255	-	190	▲65
（うち減損損失）	(164)	(-)	(170)	(5) ※3
税引前利益	3,075	1,700	1,950	▲1,125
法人税等	984	600	700	▲284
少数株主持分損益	878	400	450	▲428
純利益	1,213	700	800	▲413

※1

想定レートを円安に修正し、上期実績をふまえた為替差益、デリバティブ評価益を折り込むものの前期よりは減少

※2

海外子会社における有利子負債増加と金利の上昇による

※3

上期に計上した損失程度で留まると予想

設備投資と減価償却費

(単位：億円)

設備投資・減価償却費



FY2023設備投資計画の内訳

	投資額	主な内容
日本	5.5	維持更新・合理化
韓国	26.0 (当初23.5)	研究開発施設増設 新規開発・増産等
中国	4.5	増産・維持更新
タイ	1.5	維持更新
欧州	4.5	増産等
合計	42.0 (当初39.5)	

配当計画

- 「将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続する」という配当の基本方針は維持
- 安定配当の水準を引き上げることで株主還元を強化し、期初計画どおり1株当たり30.0円（うち中間配当15.0円）を計画

	FY2020	FY2021	FY2022	FY2023 計画
1株当たり年間配当金 (円)	無配	20.0	20.0	30.0
1株当たり連結純利益 (円)	▲60.1	125.4	229.6	151.1
連結配当性向 (%)	－%	16.0%	8.7%	19.9%

1株当たり配当金 (円)





- 将来予想に関連する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。
- 予想と異なる結果になることがある点を認識されたうえでご利用ください。
- 本資料および当社IRに関するお問い合わせは、下記にお願いいたします。

<お問い合わせ先>

G M B 株式会社 経営企画部

Email : ir@gmb.jp